



JR東労組 八王子地本

**FAX HACHIOJI**



ホームページ

発行責任者

本部派遣代表 佐藤英樹

2020/9/12No.58

八 地 申  
第 18 号

## 「2020年度営業施策に関する 申し入れ」を提出！！

「2020年度営業関係施策について」の7月17日に提案を受けて以降、職場から議論を積み重ねてきました。施策実施にあたっては安全とサービスレベルを低下させることは絶対に避けなければなりません。「変革2027」では、私たち一人ひとりの意識を「鉄道インフラを起点」から「ヒト（すべての人）起点」に転換し、「安全」「生活」「社員・家族の幸福」という三つのフォーカスポイントに沿って、具体的に施策を進め、すべての人の「心豊かな生活」を実現することを掲げています。しかし、2020年の初頭より新型コロナウイルスが猛威を振るい、テレワークの推進などが一気に進み経営環境は急激に大きく変化しております。私たちは鉄道事業者として駅を利用されるお客さまが施策実施でご不便を感じないようにしなければなりません。駅の使命は変わりません。その駅で働く社員が安全で安心して働き、技術継承・技能伝承できる駅業務体制を創り上げなければなりません。私たちは安全レベルの向上のため現場第一線で鉄道輸送を創り出してきています。安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場を構築していくために、下記の通り9月11日に申し入れました。

1. 駅業務委託にあたっては、この間の労使の確認事項と議論経過を遵守するとともに、「エルダ－雇用の場の確保の必要性」を前提としたものにする事。
2. 今施策を実行するにあたって「出向」が発生するのか明らかにすること。
3. 南武線の駅業務委託を実施するにあたっては、中央ラインモールに委託する目的と根拠を具体的に示すこと。また、施策の目的の実現に向けて業務委託先での人材確保及び乗務員区も含め十分な教育を行ったうえで実施すること。
4. 「話せる指定席券売機」について、具体的な機能を明らかにすること。また、社員に対する教育と機能の説明を行うと共に、お客さまが安心してご利用いただける案内体制の充実を図ること。
5. 八王子駅のお身体の不自由なお客さま対応業務の委託については、委託後の連絡体制を明らかにし、過去に連絡がつかないという声があったことから、駅内も含めて連絡体制の強化を図ること。
6. 今施策において管理駅が増加することから、様々な異常時に対して安全を確保したうえで、迅速に対応できる管理体制の強化を図ること。
7. 今施策においても、本人が描くキャリアプランを遵守したうえで、実施すること。

**安全で安心して働け、笑顔あふれる営業職場をつくるために、現場の声からJR東労組八王子地本は団体交渉を行います！！**